

さよならをもう一度 (1961)

GOODBYE AGAIN

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン스
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 120分
初公開日 1961/10/25
公開情報 U A
映倫 G
リバイバル 1994/06 [ヘラルド]

【解説】

平凡な生活の中にある女性の幸福を描いた恋愛ドラマ。F・サガンの小説『ブラムスはお好き』の映画化で、監督のリトヴァク自らのプロダクションでフランスで撮影された。トラック販売会社の重役ロジェ（モンタン）と5年越しのつき合いの室内装飾家のポーラ（バーグマン）は、なぜか未だに結婚に踏みきれないでいる。ロジェには他にも遊び相手がいるようで気を揉むポーラだが、互いに束縛しないという不文律が二人の間にあるため、あからさまに嫉妬を表にも出せない。そんな時、ロジェから紹介された取引先のアメリカ人の一人息子フィリップ（パーキンス）の若い情熱にほだされ、彼との同棲生活に入るのだが……。だいぶダラダラとしたメロドラマだが、母性本能をくすぐる青年の一途さをパーキンスがよく表現し、フラれて雨の中を一人立ちつくす場面などは実に絵になっている。原作題通り、ブラムスの交響曲第三番、第三楽章の甘美なメロディが様々なアレンジで効果的に場面を繋いでゆく。

【クレジット】

監督	アナトール・リトヴァク	Anatole Litvak
製作	アナトール・リトヴァク	Anatole Litvak
原作	フランソワーズ・サガン	Francoise Sagan
脚本	サミュエル・テイラー	Samuel Taylor
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric
出演	イングリッド・バーグマン	Ingrid Bergman
	イヴ・モンタン	Yves Montand
	アンソニー・パーキンス	Anthony Perkins
	ジェシー・ロイス・ランドイス	Jessie Royce Landis
	ダイアン・キャロル	Diahann Carroll
	ジャッキー・レイン	Jackie Lane
	ミシェール・メルシエ	Michele Mercier